

KOIAS Workshop 7月19日 16:00~18:00 神戸大学文学部学生ホール (A棟1階)

「雰囲気のかたち」展

—きっかけとあらわれ—

山田志麻子(うらわ美術館)

略歴：東京藝術大学大学院美術研究科美学専攻修了。2000年よりうらわ美術館学芸員。主な担当展覧会に「もうひとつの扉—20世紀・アーティストの本」展(2000年)、「生誕100年記念 瑛九展」(2011年、共同企画)、「アートが絵本に出会うとき—美術のパイオニアたちの試み」展(2013年)、「若林奮—飛葉と振動」展(2015-16年、共同企画)他。共著に『ブック・アートの世界—絵本からインスタレーションまで』(水声社、2006年)他。2022-23年に「雰囲気のかたち—見えないもの、形のないもの、そしてここにあるもの」を企画担当した。



要旨：2022年の11月から翌年の1月にかけて、うらわ美術館で開催された「雰囲気のかたち」展。

この展覧会では、姿や形がなくてもその場や空間を色付け、感情や行動に大きく作用する雰囲気、あるいは目には見えにくくても私たちのまわりにおいて空間を染め、力や豊かさが存在する場などを表現した、国内の近現代の美術家たちの作品を紹介しました。その展示作品や出品作家をご紹介しつつ、開催までの背景や展示を通して見えてきたこと、今なぜこの展覧会だったのか等を考えてみたいと思います。

連絡先：k0121712@gsuite.kobe-u.ac.jp